

平成30年5月23日

公益社団法人 神戸市民間病院協会
会長 西 昂 様

神戸市保健所長
伊地智 昭浩

神戸市保健所 HIV 抗体検査・性感染症検査実施体制の変更、
及び医療機関における HIV 抗体検査の実施について（お願い）

時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市の保健福祉行政に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

みだしの件について、神戸市保健所で実施している HIV 抗体検査・性感染症検査の実施体制を平成30年4月から下記のとおり変更しましたので、お知らせいたします。

また、裏面の通り、梅毒の届出数が年々増加しております。梅毒を診断された場合は、感染症法に基づき保健所へ届出をいただくとともに、HIV 抗体検査（保険適応あり）の実施も合わせて考慮いただきますよう、お願いいたします。

つきましては、貴会員の皆様にご周知いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 神戸市保健所HIV抗体検査

（平成30年4月からの検査体制）

	場所	内容
新規	健康ライフプラザ3階（JR兵庫駅 徒歩1分）	HIV抗体・梅毒
継続	三宮センタープラザ西館6階会議室	HIV抗体・B型肝炎（即日）
継続	三宮センタープラザ西館6階会議室	HIV抗体・梅毒・クラミジア
廃止	各区役所	HIV抗体・B型肝炎

※神戸市保健所HIV抗体検査の詳細については、別紙をご参照ください。

2. 医療機関におけるHIV抗体検査について

- ・ HIVの感染に関連しやすい性感染症が認められる場合や、既往がある場合、又はそれら感染症が疑われる場合であってHIV感染症を疑う場合は、保険診療としてHIV検査を実施することができます。感染の早期発見のため、性感染症の罹患歴や、感染リスクの高いと考えられる受診者に積極的に検査を勧めていただきますようお願いいたします。
- ・ 「HIV抗体検査の実施に当たっては、人権保護の観点から、本人の同意を得て検査を行うこと」とされていますが、同意は書面ではなくてはならないという趣旨ではなく、口頭による同意も可能ですので、適切かつ積極的に検査を実施いただきますよう、お願いいたします。

（参考）・ 医科診療報酬点数表に関する事項（通知）（平成24年3月5日保医発0305第1号）

後天性免疫不全症候群の疾病と鑑別が難しい疾病が認められる場合やHIVの感染に関連しやすい性感染症が認められる場合、既往がある場合又は疑われる場合でHIV感染症を疑う場合は、本検査（HIV-1, 2抗体定性、半定量又は定量、又はHIV1, 2抗原・抗体同時測定定性又は定量）

を算定できる

・HIV検査の勧め方と告知について 「HIV感染症の診断」

(兵庫県ホームページ) <http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/documents/kensa.pdf>

・HIV検査周知用「こんな病気の診断を受けたときにはHIV検査も受けましょう」(別紙参照)

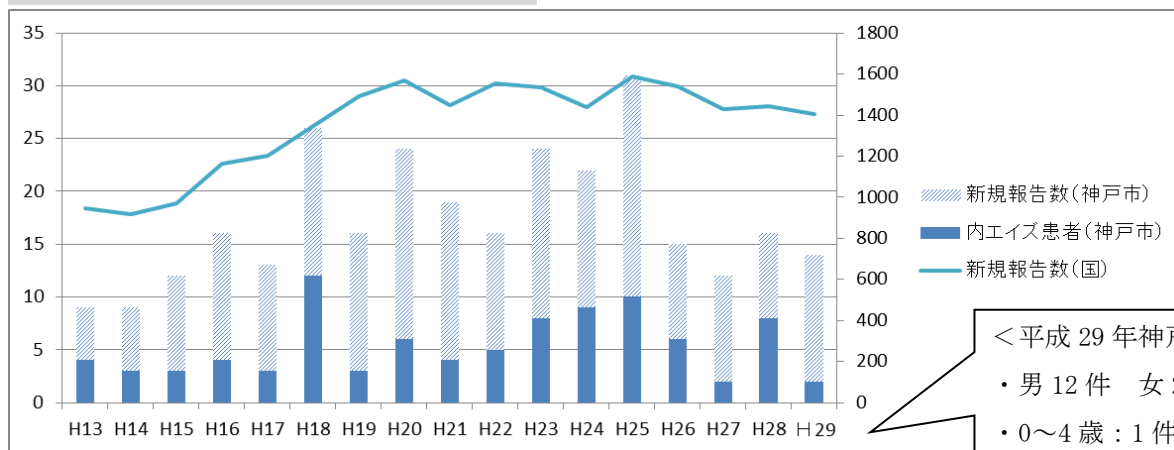
(兵庫県ホームページ) <http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/documents/poster.pdf>

・後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改正に係る留意事項について

平成30年1月18日健感発0118第5号

3. HIV・梅毒発生動向(情報提供)

<後天性免疫不全症候群 発生届出数>



<平成29年神戸市届出内訳>

- ・男 12 件 女 2 件
- ・0～4 歳：1 件 20 代：8 件
- 30 代：2 件 40 代：1 件
- 50 代：1 件 60 代：1 件

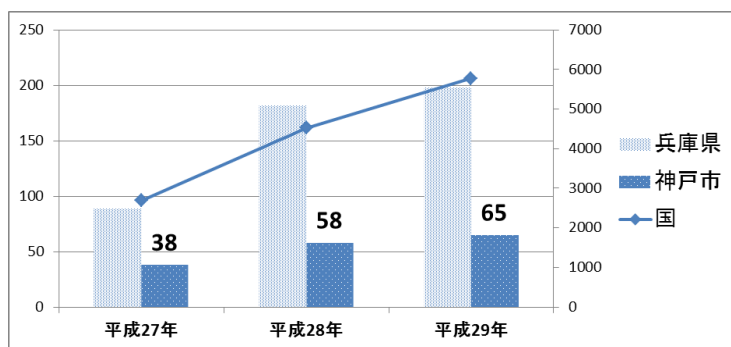
※HIV 感染者は、内部障害「免疫機能障害」として、病状に応じて身体障害者手帳（1 級～4 級）が取得できます。現在市では約 300 名が手帳を取得しています。

HIV 感染者・エイズ患者の新規届出数は高止まり（平成 28 年 1,448 件/国）しています。

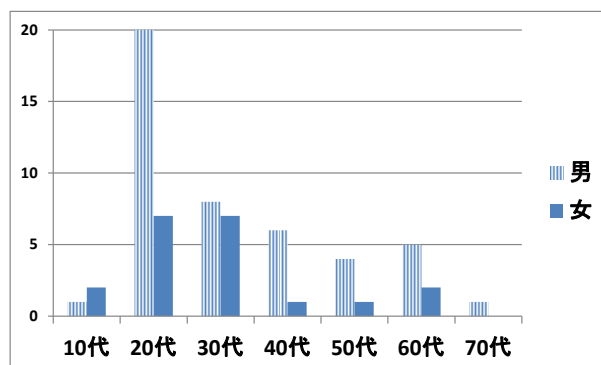
依然として、エイズ発症後に初めて診断がつく患者の割合は 30%のままで推移しており、病気が進行し診断される事例が多く、早期の発見が課題です。

<梅毒 発生届出数>

(国・兵庫県・神戸市) 梅毒発生届出数



(神戸市) 平成29年梅毒発生届 性別・年代別



梅毒の届出数が年々増加しており、今後、先天梅毒の発生や HIV 感染者・エイズ患者の増加につながるか注視しているところです。

担当：神戸市保健所予防衛生課（黒木・白水）

TEL：078-322-6789 FAX：078-322-6763